

2024年2月3日土曜日10：00～11：30 にオンラインにて開催された勉強会の概要です。

ADBの前官民連携局長の森下洋司様から「アジア太平洋地域のPPP現況」という題目でお話を頂きました。

この勉強会には、森下様のほか、遠藤様、川口様、小久保様、小寺様、小林文彦様、瀬戸様、高間様、坪井様、水野様、吉田茂樹様、安間が参加しました。

ご質問事項としては、①金融が主たる経験であった森下氏が官民連携局長になった経緯、②PPPのValue for Moneyについて、③国際機関における技術支援（TAS）と投融資の利益相反問題について、④ソロモン諸島の水力発電PPP事業における重要なリスク、⑤同案件における為替リスクの取り扱い、⑥同案件における世銀の役割や同案件におけるSDG Covenantsの重要性、⑦同案件におけるデット融資比率の異常な高さに見られる本件難易度の高さ、⑧PPPにおける地場企業の必要性和役割、⑨今後の途上国のインフラ資金需要への年間5000億ドルの動員可能性如何、⑩JICAの海外投融資への期待、⑪今後のPPP案件の質の見込み如何などがあり、活発に議論されました。

森下様、ご講演頂きありがとうございました。森下さんは、本講演の提供により、本会の客員会員となります。二年間は会費無料。

【講師略歴】 森下洋司（もりした・ようじ）様

【現職】 戸田建設(株)顧問

【ご経歴】

1962年生まれ、山口県宇部市出身

九州大学経済学部卒、MBAおよびMS in Environmental Management

（いずれもRensselaer Polytechnic Institute, NY, USA）

大学卒業後、神戸製鋼、日本輸出入銀行、CitibankのManaging Director(MD)、

ING東京支店のMD、スタンダードチャータード銀行（日本）のMDを経て、

2017年7月より2021年12月末までADBの官民連携局長。

（文責：安間）